

【Plan】計画 / 【Do】実施																		【Check】評価 / 【Action】改善																
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)									H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			指標名等			H29年度			H30年度			指標名等			H29年度			H30年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	事業評価	1次評価(担当者評価)		2次評価				
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R2年度予算要求の方向性	所属長評価					
生涯学習の推進	図書館資料収集事業	・幅広い資料を収集し、貸出などにより住民に提供することと合わせて、図書館の資料によって課題を解決するための支援を行う。	新刊案内発行回数	回	23	24	104%	23	24	104%	図書館利用者カード登録率	%	70	75	107%	71	79	111%	17,992	18,000	17,997	中	継続的な資料の購入により、豊富な資料群を構築していることから市民の利用も多く、また新規利用者の数も伸びてきている。	なし	資料の収集はコストに直結しており、これ以上の削減は大幅な利用減少を招き、困難である。	拡大	41万点を超える資料を備え、テーマ展示を行ったり、予約・リクエストに応えたりして資料を市民に提供していくことは、図書館の役割を十分に果たしている。	継続して資料を購入することで、組織的な資料群の構築が成されている。まだ少し書架の余裕があるので、取捨選択を行いながら資料の構築を行う。	改善	蔵書構成のバランスに配慮しながら、資料を収集し、市民へ提供することにより、生涯学習の推進に寄与できる。				
生涯学習の推進	ブックスタート事業	・生後3ヶ月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対して、3ヶ月児健診の折、当事業の趣旨を説明して絵本を渡し、ボランティアによる絵本の読み語り(読み聞かせ)を行う。 ・配布物は絵本2冊、絵本リスト、図書館利用案内、利用申込書。	赤ちゃん絵本の配布冊数	冊	552	902	163%	515	870	169%	ブックスタート参加率	%	99	99	99%	99	99	100%	612	553	553	低	3ヶ月児健診と同一日程、同一会場でブックスタートを実施していることから、参加率が99%と非常に高い。	低	絵本を2冊配ること子どもに好みに応じた絵本を選べることから、保護者の反応はとても良い。事業費は絵本とリストの購入費のみであり、これ以上の削減は困難である。	改善	これまで続けてきたことで事業の認知度が高まっており、市民からの寄附も行われている。事業のコスト面を改善しながら維持することが必要である。	近年、新生児の数が減るのに呼応して、3ヶ月児健診の受診者も減ってきている。ブックスタートの取り組みは継続していくが、配布する絵本の数が減る見込みで、経費はやや抑えられる。	改善	ブックスタートをきっかけにして、家庭での絵本の読み語りを始める家庭も多く、今後も継続していくことで子どもの読書活動の推進につなげていく。				
生涯学習の推進	家読推進事業	・「家族ふれあい読書」を主として、読書の推進を図り、家族のコミュニケーションを深める。 ・家読を啓発し、市内各地区で家庭・学校・地域それぞれ連携した取り組みができるよう図書館から支援する。	家読フェスティバル開催地区数	ヶ所	5	4	80%	5	3	60%	家読フェスティバル参加者数	人	120	500	417%	200	587	294%	928	780	762	中	家読フェスティバルは4ヶ所で予定されていたが、波多津は台風のため中止となり、3ヶ所での開催となった。しかし、各会場とも大勢の参加者で盛り上がった。	低	家読の推進を継続するために、講演会や図書館を使った調べる学習コンクールを実施することから、一定のコストは必要である。	改善	市民への家読の普及を図るためには、うちどく推進講演会など事業全体の継続及び活性化が必要である。	経費を必要最小限に抑えつつ効果を高められるように、内容の見直しを行いながら家読の推進に取り組む。	改善	うちどく講演会を魅力あるものにした。調べる学習コンクールを充実させたりすることで、家読の深化を図ることができる。				